

平成 30 年 2 月 20 日 (火)		13時 00分 ~ 16時 00分	
会議名	鳥取県環境管理システム更新審査	会場	応接室 ほか
記 録			
参加者:審査員2名・教頭・事務長・担当者2名			
(審査員)今年度の環境教育が変わったところはどこか？			
(教 頭)環境委員の活動が活発になった。生徒同士で指摘し合い、環境整備活動を実施した。			
また、今年度から教育目標を定めさせていただいた。			
職員室のゴミについて、紙の分別をしっかりとするようになったためか、昨年度に比べて大幅に			
減量した。職員室の清掃を生徒ではなく、職員が行うようになり、ゴミの状況を目にすることが			
多くなったことも、ゴミの量が減量した要因の一つではないかと思っている。			
(審査員)職員室の清掃を教員の皆さんが行うのはよいことだと思う。無理のない範囲で教育活動を			
進めていくことが大切であると考えている。			
(審査員)環境マニュアルの11ページに研修についてのページがあるが、研修の種類について、			
「環境リーダー研修」・「教職員・生徒研修」について、研修記録票(様式第3号)で内容等が			
しっかりと伝わってくるが、環境マニュアルに書いてある内容では、実態に合っていないように感じ			
る。実施されている内容の方が、よりよいと感ずるので、マニュアルの方を実態に合わせて変えた			
方がよいように感じる。ただし、昨年度改訂したばかりであるので、次回、他のことで改訂が必要に			
なった際に、併せて改訂を行えばよいと考える。			
(審査員)今年度から、著しい環境影響項目がマニュアルから外れているので、その代わりとなる「環境			
影響評価 シート」があった方がよい。もしもなければ送付する。			
(審査員)研修記録票(様式第3号)のなかで、「配布」という言葉が出てくるが、「配布」なのか「配付」なのか			
をしっかりとした方がよい。			
(A)「影響評価評価シート」・研修記録票ともに、しっかりと確認し、今後、改訂等必要なことを行いたい。 以上			